



新井 咲月くん
「おさんぽ大好き♪」
(大野原)



新田 玲七ちゃん
「ボール遊び
だ〜いすき!!」
(山田)



富田 優翔くん
「わが家の
やんちゃボーイです!!」
(太田)



若林 舞葉ちゃん
「お散歩大好き!☆」
(下吉田)



応募方法

1〜1歳半程度の子市内在住のお子さんの写真を同封し、住所・保護者の氏名・電話番号・お子さんの氏名(ふりがな)・性別・生年月日・コメントを明記の上、秘書広報課までご応募ください。(メールの場合は、件名に「わが家のアイドル」、本文に必要事項を入力し、500KB以上の画像を添付の上、hisyo@city.chichibu.lg.jp まで) 抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。
※携帯電話のカメラで撮影する場合は、サイズを2M(1080×1920)以上に設定してください。

夢をかなえる 未来にはばたく

秩父地域の高校

シジュウカラの巣箱をプレゼント
(秩父農工科学高校)



5月11日・12日の2日間、愛鳥部の部員たちが手作りした、シジュウカラ用の巣箱のプレゼントを行いました。

愛鳥週間に合わせて実施している巣箱のプレゼントは、今年で27年目になります。野鳥保護と野鳥を取り巻く自然保護の大切さを広めていくことを目的として実施しています。手作りの巣箱は、毎年好評で多くの方に利用されています。今年も、昨年の夏ごろからコツコツと製作した巣箱100個は、全てお渡しすることができました。



現在、学校の敷地内に設置した15個の巣箱のうち7個の巣箱で、シジュウカラのひながかえっています。シジュウカラは樹木につく害虫を食べる、有益でかわいらしい鳥です。

秩父農工科学高校愛鳥部は、地域の野鳥と自然環境保護のために少しでも役に立てればと考え、これからも活動を続けていきます。

市民文芸

俳句

竹内 弥太郎 選

春嶺に荷物運べるへりの音	山峡の村を染めたる桃の花	花吹雪妖精舞える山の寺	新入児背巾を見せぬランドセル	夫見舞い春苗の無事伝え来し	桜薬友眠る丘ひとり来し	気を入れて庖丁を研ぐ雛の餅	あるじ亡き館に香る梅の花	水撒きて客足誘う植木市	俄か床屋四月の庭に開店す
三峰 千島サマ井	小柱 設楽 キマ	小柱 清水喜美子	日野田町 加藤しげ子	久那 福島 昭子	日野田町 斉藤 ちえ	吉田久長 齋藤 大仙	栃谷 坂本 玲子	栃谷 竹村善三郎	上吉田 山口 富江

(評) 喜びも悲しみも店々の、春を乗り越えて生きる姿が描かれました。富江さんは子どもの頭の入れを描き、庭の開店にユーモアを感じます。善三郎さんは客を誘う心遣いを、大仙さんは雛に供える餅切りへの意欲を表白しました。玲子さんやちえさんは亡き人への思いを描き、昭子さんは夫への思いの深さを、しげ子さんは新一年生への望みを抱き、喜美子さんは密かな思いを、キマさんやサマ井さんは春の情景を確かなものにしました。皆さんがさらに季語を確かめましょう。小春(小六月)は初冬、椋鳥は秋の季語です。

※次回7月号は短歌を掲載します

俳句、短歌の応募は、住所・お名前(ふりがな)を明記の上、必ず官製はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2句または2首まで、各1通までです。

俳句 6月末締切→8月号に掲載
短歌 7月末締切→9月号に掲載

わが家のアイドル・市民文芸への応募は、市役所秘書広報課(〒368-8686 熊木町8-15)へ

なお、掲載した内容は、市ホームページでも公開します。